



## 創立10周年に寄せて

新日鐵住金(株)九州支店建材室室長

**高橋 勉**

福岡県建築鉄骨協議会が創立10周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、会員各位には、平素より格別のご厚情、ご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、1901年に北九州市八幡で操業を始めて以来、鐵という素材を通じ、わが国の近代化、高度経済成長を支えて参りました。創業に先立ち八幡製鐵所構内に修繕工場等が建設され、110余年を経た今も、現役の施設として稼働しております。当地区は、まさに鐵のふるさと、鉄骨建築物のルーツと言えます。

この協議会を通じて、弊社としましても、その時々最新の鋼材や市況動向、トレーサビリティ管理、そして世界の鉄鋼情勢などについて適時、講義させて頂きました。それぞれの内容に対して、いろいろなご質問頂き、あらためてこの会の存在意義を認識させて頂いた次第です。

阪神・淡路大震災、福岡県西方沖地震、そして東日本大震災を見ても、地震に対する鋼構造の信頼性があらためて評価されておりますし、現下の建設現場における職人不足という建設業界の構造問題に対しても、鉄骨構造化はひとつの解答となる可能性があると思います。

当協議会は、設立時より建築鉄骨の健全な普及・発展のため、設計者・建設業者・鉄骨製作者・行政・学界が一致連携するという趣旨のもと活動されてきました。設立から10年が経過し、今、従前にも増してこの意味合いが際立つものと考えます。

次の時代（世代）へ向け、鉄鋼メーカーとして何ができるのか。今後も当会の皆さまと一緒に考え、当会の発展に寄与して参りたいと思います。